

1. 厚生労働省のブラック企業対応

近年、「ブラック企業」という言葉を見かけることが多々あります。「ブラック企業」について、法律等による明確な定義づけは現在ありませんが、一般的には、恒常的な長時間労働がみられること、その対価である所定外賃金の支払が不明確である・サービス残業がみられること、賃金・契約期間をはじめ労働条件が不明確であること、ノルマが過酷であること、労働者の長期勤務への期待が低く離職が高いこと、等が特徴として挙げられるようです。

先日、厚生労働省は「若者の『使い捨て』が疑われる企業等への取組を強化」を発表しました。これには「ブラック企業」との言葉は使用していませんが、事実上、ブラック企業への対応を指しているものといえます。この発表では、「厚生労働省は、若者の『使い捨て』が疑われる企業等が社会で大きな問題となっていることを受けて、以下の3点を取組の柱とし、具体的な対策を行っていきます。」とし、①長時間労働抑制への集中的取組、②相談窓口の開設、③職場のパワハラ予防・解決の促進の3つの取組を挙げています。このうち、相談対応や周知啓発ではなく厚労省(労働基準監督署)が企業に直接関与する①では、具体的に、過重労働の重点的な監督指導をし、法違反の是正が図られない場合にはハローワークでの職業紹介の対象にしないこと、過労死等事案を起こした企業への再発防止の取組を徹底指導、悪質な事案の送検・公表を挙げており、9月を「過重労働重点監督月間」として集中的に取組を実施するとしています。「使い捨て」とは端的な言葉に聞こえますが、取組の対象は確かにブラック企業の特徴を捉えているといえます。

若者の人生を「使い捨て」することもさることながら、頑張っただけで法令を遵守する企業がある一方で法違反おかまいたしの企業が横行するのも許しがたいことです。



2. 現在の就業状況

こここのところ、アベノミクス効果でしょうか、景気が上向きつつあるようです、そこで、現在の就業状況がどのようになっているのか、見てみたいと思います。出典は、総務省が発表している労働力調査の平成25年4月～6月平均(速報)です。

まず、雇用形態についてですが、正規の職員・従業員は3317万人と、前年同期に比べ53万人の減少となりました。これは、2期連続の減少となります。一方、非正規の職員・従業員は1881万人と、前年同期に比べ106万人増加しています。役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は36.2%と、前年同期に比べ1.7ポイントの上昇となりました。2期連続の上昇となります。

次に、現職の雇用形態(非正規の職員・従業員)についての主な理由をみてみます。男性の非正規の職員・従業員(603万人)のうち現職の雇用形態についての主な理由を「正規の職員・従業員の仕事がないから」とした者が168万人で30.7%でした。一方、女性の非正規の職員・従業員(1278万人)のうち現職の雇用形態についての主な理由を「家計の補助・学費等を得たいから」とした者が331万人で27.5%です。ところで、失業者の状況はどうでしょうか。完全失業者は277万人おり、前年同期に比べ23万人の減少となっていますが、仕事につけない理由としては、「希望する種類・内容の仕事がない」が84万人と6万人の減少、次いで「条件にこだわらないが仕事がない」は24万人と、4万人の減少となりました。また、失業期間が「1年以上」の者は1万人減少し、104万人となっており、全体として、求人は上向いているものの、非正規労働者の占める割合が多くなってきているようです。

● 編集後記 ●

～祝！世界文化遺産 富士山登頂記 2013年8月某日～
 世界遺産登録で大フィーバーの富士山。ミーハー心に火がついて、とうとう富士登山行ってきました。700名の超大規模な集団での挑戦。夜10時半から五合目より登頂を開始し、そのまま一気に頂上を目指すというかなり過酷なスケジュール。日頃、阿波踊りの練習で足腰を鍛えているので、体力には多少自信があったのですが、6合目あたりで、経験したことのない新種の体調不良に。一時は下山も考えましたが、すれ違う人みんなに声をかけてもらったり、7人のグループメンバーには荷物を持ってもらったり酸素を分けてもらったりと支えてもらい、なんとか回復し、無事に頂上出来ました！仲間なくしては決して登りきることは出来ませんでした。天気にも大変恵まれたので、頂上からの景色も、そしてご来光も最高でした。どんなに高性能のカメラでもおさめられないような大パノラマとあの色彩。それを観ただけで、もう十分ご利益を感じました。皆様も一生に一度はぜひ、富士山へ♪(秋山)

あおぞら人事・労務サポート
 特定社会保険労務士
 秋山幸子 (登録 NO.13050514)
 三鷹市下連雀 3-38-4-307
 TEL:0422-24-8625
 FAX:0422-24-8605
 E-mail: info@aozora-sr.com
 URL: www.aozora-sr.com

責任編集: 社会保険労務士
 秋山・隅谷・玉川・安部(武蔵野統括支部)